

第65回通常総会・総会懇親会



第65回通常総会



小山会長挨拶

[第65回通常総会]

- 1 開催日時 平成29年5月17日（水）16時00分～16時50分
- 2 開催場所 生田神社会館 3階 菊
- 3 出席会員 136社（委任状提出65社を含む。）
- 4 結果

（1） 会長挨拶（要旨）

第65回通常総会に県内各地からご出席をいただき、誠にありがとうございます。会長に就任してから1年が経過しますが、この一年、次の目標、方針で協会の運営に努めて参りました。

まず会員の増強活動であります。会員各位から入会促進にご尽力をいただき、お陰をもちまして会員数は平成27年度末と比べて28年度末では8社増、170社となり、その内訳は、正会員147社、賛助会員23社となっております。当面の目標は200社としておりますので、引き続き入会促進活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に担い手確保についてであります。我々電気設備業界においてもなかなか新規採用が難しく、電気工事業に目を向けてもらえるような若者がだんだん少なくなってきました。この問題については、協会も非常に危機感を持っておりまして兵庫県建設業育成魅力アップ協議会にも参画して若者の入職促進に向けた様々な活動を行っているところであります。

そして今一番力を入れておりますのは、工業系高校生のインターンシップであります。先日初めての試みとして、県高校教育研究会工業部会電気系部会の先生方との意見交換の場を設けました。その中では厳しい意見、要望等もありましたが、インターンシップについても今の時代に合った形にしていく必要があるのではないか、我々自身も変わっていく必要があるのではないかと感じた次第であります。

会員各社におかれても、新しい考え方でいろいろな工夫をしながら業界の発展に今一度ご尽力を賜りたいと思っております。そのためには協会活動が業界の認知度向上、活性化につながり会員事業を下支えしていけるような役割を果たしていきたいと考えており、29年度の協会活動を積極的に進めてまいりますので、皆様方のご協力をどうかよろしく

お願いいたします。

(2) 議長選出

小山恵生会長を議長に選出

(3) 議事録署名人指名

議長が定款に基づき、伊丹産業電気工事株式会社東仲淳隆理事及び株式会社籠谷栗原直樹理事を指名

(4) 議事

ア 報告事項

第1号報告「平成28年度事業報告に関する件」、第2号報告「平成29年度事業計画に関する件」、第3号報告「平成29年度収支予算に関する件」の3件の報告が行われました。

イ 審議事項

第1号議案「平成28年度収支決算（案）に関する件」及び第2号議案「役員選任に関する件」の2件がいずれも満場一致で可決承認されました。

(5) 平成28年度永年勤続優良従業員表彰

会員企業から推薦のあった、永年にわたり勤務し、勤務成績良好で他の模範となる次の6名の方々に對し、小山会長から表彰状並びに記念品が授与されました。

- | | |
|----------------|-------------------|
| ・ 山本信昭氏（西部電工㈱） | ・ 木村敏彦氏（ミナト電気工事㈱） |
| ・ 坂根茂樹氏（㈱北山工商） | ・ 岡澤寿和氏（尼崎電機㈱） |
| ・ 松本 正氏（藤井電機㈱） | ・ 渡辺孝則氏（福崎電業㈱） |

(6) 新入会員紹介

平成29年4月1日正会員として入会いただいた株式会社信栄電気設備様の紹介が行われました。

(7) 青年部会活動報告

日常、業界の発展に努力されている青年部会の活動を会員にアピールするため、山口青年部会長から青年部会の平成28年度活動状況報告が行われました。

(8) お礼の言葉

前田副会長から長時間に及ぶ本日の会に対する会員の協力に対し、感謝の言葉が述べられました。

[総会懇親会]

午後5時から同会館4階富士において、井戸兵庫県知事、荒木副知事をはじめ兵庫県及び神戸市等幹部、関係団体代表等のご来賓をお迎えし、正会員・賛助会員あわせ総勢159名の参加のもと、第65回通常総会懇親会が開催されました。

懇親会の席上、7月2日投票の知事選挙に出馬を表明されている井戸知事に対し、会長から井戸氏を最も適任の候補者と認め推薦する旨の協会推薦状をお渡しするとともに、会員から寄せられた多数の推薦書を井戸知事に直接お渡ししました。

また、本年春の黄綬褒章を受章された小山会長に、前田副会長から受章お祝い金が贈呈されました。



井戸知事祝辞



7月知事選挙の候補者として井戸知事を推薦

(小山会長挨拶要旨)

会長を拝命してから一年が経ちました。一年前にお示しした三つの方針について、これまでの経過と今後の考え方をお話します。

1点目の会員の増強につきましては、会員皆様方の地道な努力が実を結び若干の増加となっております。正会員数は平成27年度末の142社から平成28年度末には147社に、賛助会員は20社から23社に、計162社から170社になりました。目標である200社まで引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

2点目は担い手確保の問題です。人手不足の問題は電気工事業を含む建設業だけの問題ではなく、どの産業、どの分野においても社会問題化し経営者を悩ませているのが現状です。このため我々は兵庫県建設業育成魅力アップ協議会に参画し、高校生のインターンシップ、そして高校生の新規就職にかかわることについて取り組んでいます。インターンシップには平成14年度から取り組み、多くの生徒さん方を受け入れてきました。この3月高等学校の工業系電気部会の先生方と意見交換を行い、受け入れ期間を3日から5日に増やしてほしいとの要請を受けました。日数が増えることによって抱える問題も生じますが、時代にあった形に協会としても柔軟に対応していくこととさせていただきました。地元の中小電気工事会社に就職を希望する生徒が少ない状況ですが、工業系高校の先生方との連携を深めるなど、協会として活動に本腰を入れないといけない時期に来ていると思います。

3点目は業界の認知度向上です。どのようにすれば上手にPRができるのか難しいところがありますが、たとえば、毎年7月開催される「高校生ものづくりコンテスト」、県内の約20校の生徒が参加され、県大会での優秀者が近畿大会、全国大会へと進んでいきます。兵庫県のレベルは高く、多くの生徒が近畿大会、全国大会へと進み、優秀な成績を収めております。このコンテストをマスコミに採りあげていただき、電気工事について多くの方々に知っていただければ、協会の認知度も高まるのではないかと思います。それ以外にも、技術講座や社会貢献活動などを計画しておりますが、県をはじめとする関係機関の皆様方のご支援、ご指導がなければ遂行できません。今年度の事業が皆様方のご支援、ご理解により立派に成功することを祈念してご挨拶とさせていただきます。

(井戸知事祝辞要旨)

春の褒章で小山会長が黄綬褒章を受章されました。こころからおめでとうと申しあげたいと思います。黄綬褒章は技術的な評価がされる、専門性が評価される褒章ですので、兵庫県電業協会の技術水準が高いという証であります。

会長が協会の事業の紹介をされましたが、我々が一番評価させていただいているのがインターンシッ

プです。平成28年度で72名を受け入れていただきました。これをさらに強化しようと言っていたので安心しました。どこの分野でも後継者づくりが課題となっています。後継者をどうやってうまく作り確保していくのか。それは現場でインターンシップをしてもらうことが重要だと思いますので、電業協会のこれからのご活躍に期待を申しあげたいと思います。

今、省エネなどいろんな意味で技術革新が進んでおり、燃料にしても水素や自然エネルギーだとか言われていますが、全部最後は電気につながっております。水素自動車も電気に替えてモーターを動かすということですので、すべてが電気に還元されていきます。

私はこれからますます電気工事の世界というのは欠かせない存在になると思います。特に建物や設備が更新期に入っておりますし、県の施設などについて言いますと、大規模改修をしていかねばならない。このような時代を迎えておりますので、業界の皆様方のご協力をよろしくお願いを申しあげる次第です。

この後、7月2日の知事選挙にあたり、私に推薦状をいただくと承っており、前もってお礼を申しあげます。5回目の挑戦になりますが、私は回数というよりは、その時々々の県政課題に新たに挑戦をしていくという気持ちで臨ませていただきます。今回の挑戦には人口が減っても少子高齢化が進んでも、兵庫のポテンシャルを活かして兵庫県の活力を維持発展させることを目的とする兵庫の地域創生をきっちり軌道に乗せるという大きな課題があります。これをしっかり実現するために挑戦をさせていただこうと思っております。皆様方のご理解ご支援とご協力をお願い申し上げる次第です。私自身その責任をしっかりと果させていただくべく全力をあげて努力をさせていただきます。どうぞよろしくお願いを申しあげましてご挨拶に代えさせていただきます。

[主な行政関係出席者(敬称略)]

井戸敏三(兵庫県知事)、荒木一聡(兵庫県副知事)、松本隆弘(兵庫県議会議員・協会顧問)、高田巖(元神戸市会議員・協会顧問)、三石真也(県理事)、水埜浩(県まちづくり部長)、成岡英彦(県県土企画局長)、奥原崇(県住宅建築局長)、境照司(県企業庁次長)、高木泰幸(神戸市設備担当部長)、小南正雄(県住宅供給公社理事長)